

理事長特別賞

千葉黎明高等学校

(千葉県)

やちまた
大正12年、開拓の街「八街」に誕生した本校は今年で創立93年を迎えた。近年は特に学校が持つ可能性や理想、希望、そして共に生きる社会の構成員としての役割を担う人材育成に注目し、社会の課題と身近な暮らしとを結び付け、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動に取り組んできた。その中でもボランティアなどの自分を高める活動とそれを通じて社会につながることが大きな教育的意味を持つこととして捉え、地域と共に多くのボランティア活動に取り組むことを推進してきた。

主な活動は、平成21年から、修養団千葉県連合会主催の「房総子ども自然体験キャンプ」に高校生リーダーとして参加、延べ60名が参加、卒業後も運営スタッフとしてキャンプに参加するOB・OGもいる。また地域の選挙の期日前投票や投票日当日業務にボランティア参加、地域の防災避難訓練や子育てフォーラムのボランティア、近隣小学校の夏休み勉強支援ボランティア、読み聞かせボランティア、地域商店街主催の小学生対象イベントの運営スタッフボランティア、近隣障害者施設の夏祭りスタッフボランティアなどにも参加している。また全校生徒が取り組む通学路清掃「ゴミゼロ運動」(年5回実施)、ジェフユナイテッド市原・千葉(Jリーグ)と千葉市緑政課の三者協働で取り組んでいるJR蘇我駅前の立体花壇の管理ボランティアも10年になり、また女子ソフトボール部が「ゆうあいぴっくソフトボール大会」に運営ボランティアとして参加するなど、地域との活動を活発に行っている。東日本大震災の翌年平成24年から震災学習を組み込んだ修学旅行を実施、仮設住宅を訪ね傾聴ボランティアを行うことで被災地とのきずなが生まれている。

生徒たちのボランティア参加意識は年々向上しており、指導・助言者としての教職員が教育的感性や全人的道徳心をより豊にするために修養団伊勢講習会に毎年複数名参加し、講習会での学びを日々の教育の現場に活かしている。本校や部活動が主体として計画的に取り組んでいるボランティア活動以外は全校生徒に公募し、自分の意思でエントリーする。これらの参加者はリピート率が高く、喜び、楽しみ、使命感、責任感など、生徒たちが成長していくのがわかる。最近では単に参加することだけでなく、社会の問題に結びつけてボランティア活動の問題発見・問題解決の学習として自己能力の向上の機会となっていると感じている。

今後もこれらの積み木を一つ一つ重ねていくような教育実践を通して、地域文化と連動して活動を継続していきたい。



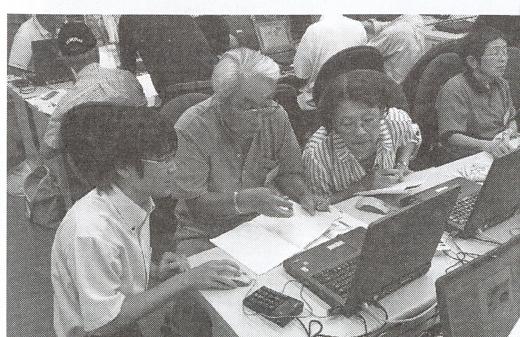
〈修養団千葉県連合会主催の房総キャンプのボランティア〉



〈修学旅行の被災地傾聴ボランティア〉



〈JR蘇我駅前の立体花壇管理ボランティア〉



〈パソコン教室ボランティア〉



〈子育て支援ボランティア〉



〈読み聞かせボランティア〉